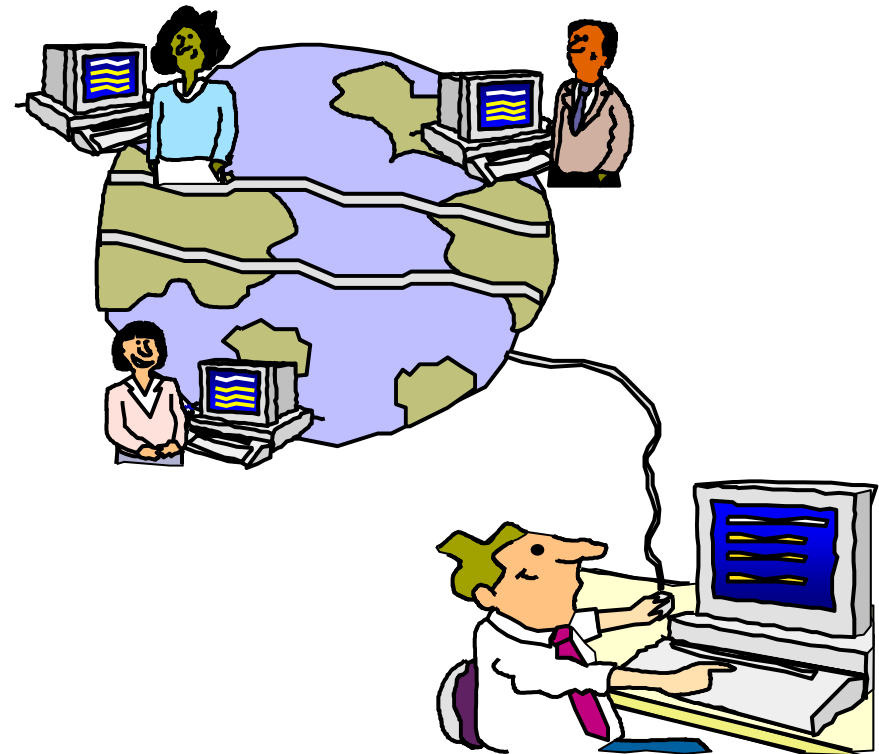


キャベツ学 入門 のようなもの。



2015年9月5日 小さな勉強会

キャベツ



あたしの準主食の様なものである



主食はライ麦パンと肉と蕎麦



メステマッハー ラインザーメン ブロート



だからと云って
産地とか旬だとかは知らない

momo



そして、決して丸のままは食べない



だから料理をする



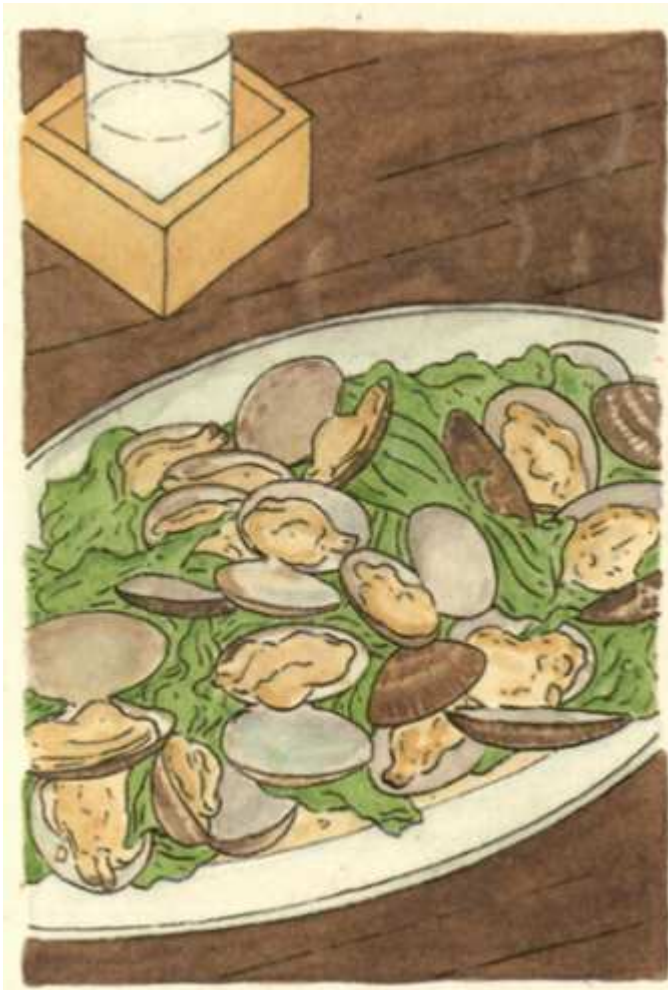
キャベツとベーコンの炒めもの



キャベツと豚肉のミルフィーユ



アサリとキャベツの酒蒸し



深夜食堂14巻



千切り



とんかつ定食はキャベツから食え！



千切りと云えばカットキャベツ



カットキャベツと云えば



工業製品



千切り



ドレッシング



市販の物を使っている



マコーミック



キューピー



2種類の フレンチドレッシングを使っている



マコーミック



キューピー



これらも工業製品である



マコーミック



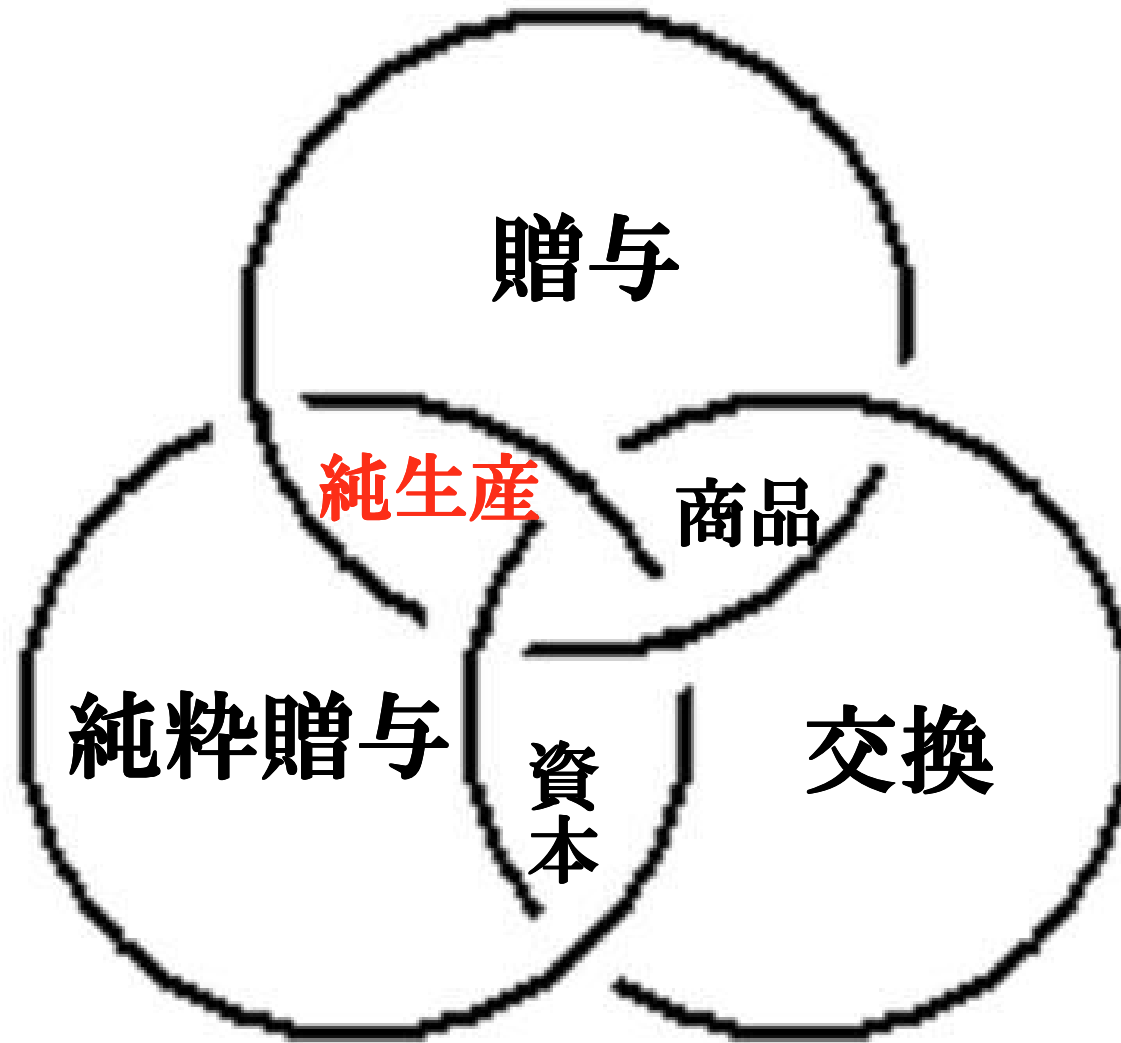
キューピー



さて



あたしの準主食の経済は
普遍経済学（全体としての経済）なのか

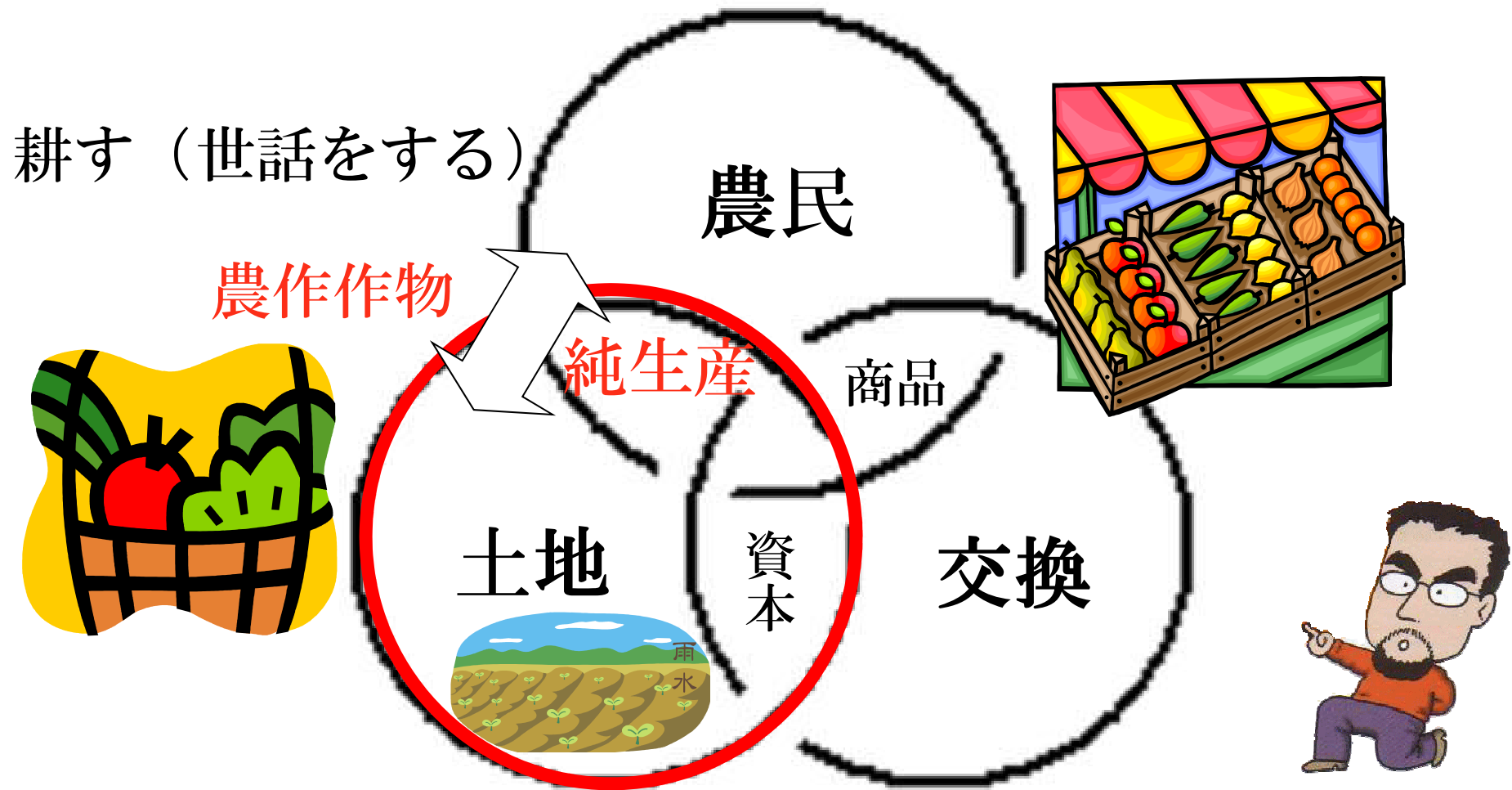


キャベツは農産品だ



農業の三位一体モデル

momo



交換は後から接続されることで純生産が商品に転換する。

しかしカットキャベツは



工業製品



ドレッシングも工業製品



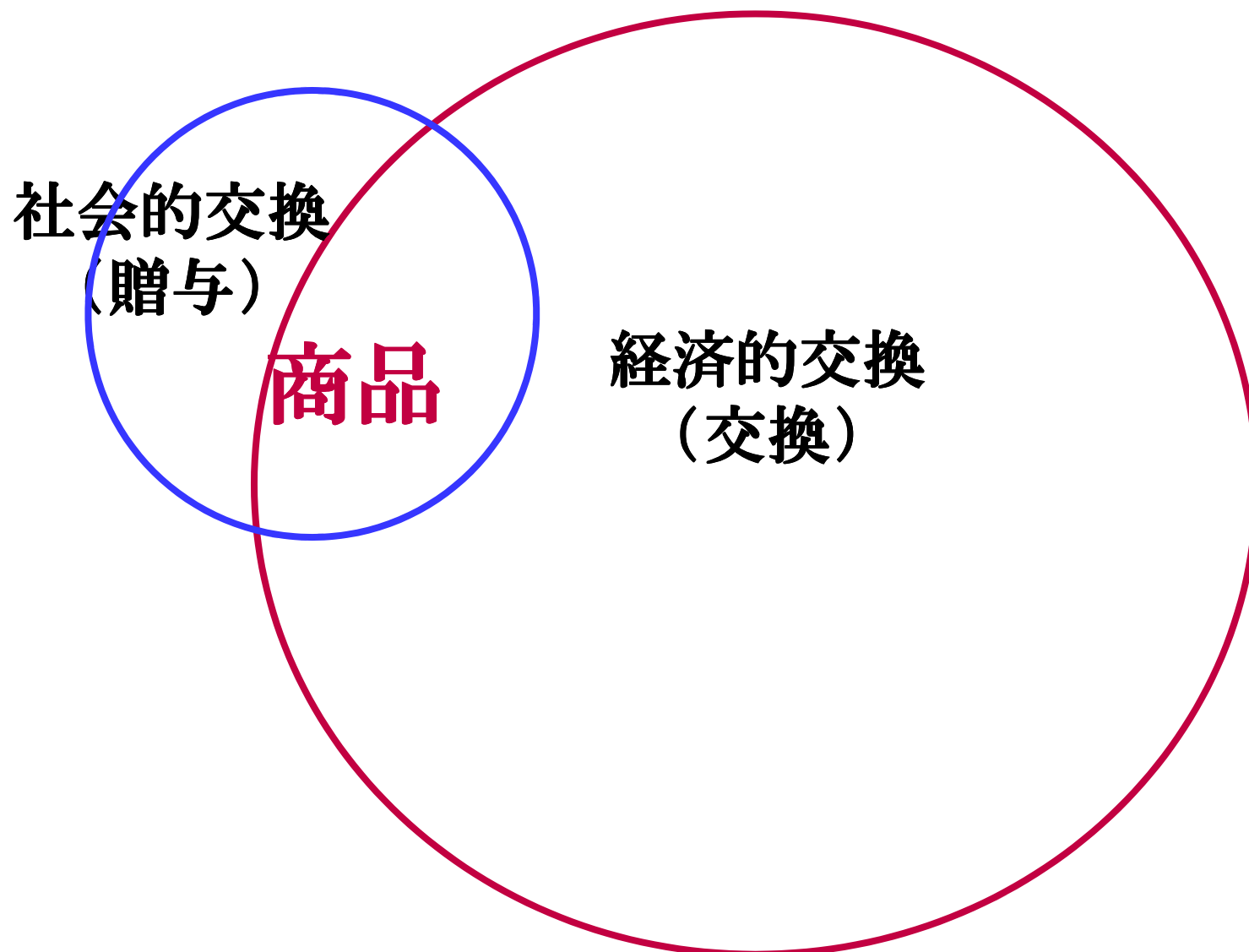
マコーミック



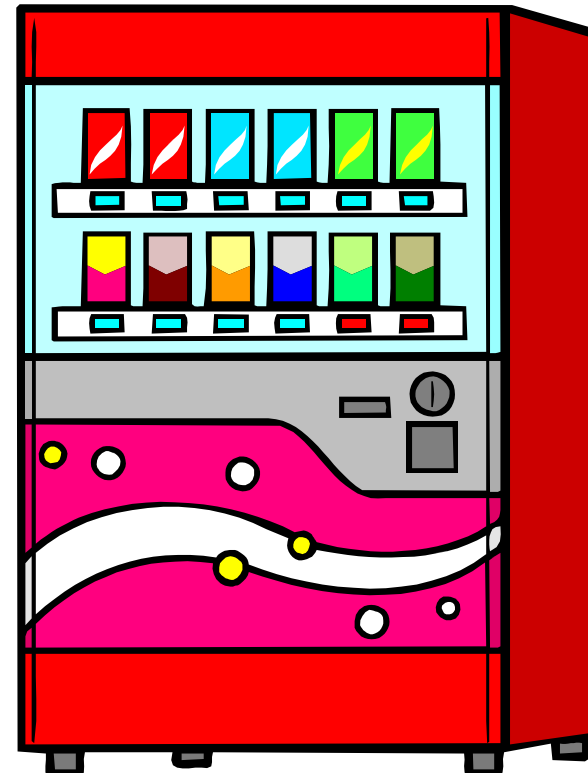
キューピー



限定経済学（主流の経済学） 〈贈与／交換〉



赠与/交换



交換の原理

商品はモノである。つまり、そこにはそれをつくった人や前に所有していた人の人格や感情などは、含まれていないのが原則である。

ほぼ同じ価値をもつとみなされるモノ同士が、交換される。商品の売り手は、自分が相手に手渡したモノの価値を承知していて、それを買った人から相当な価値がこちらに戻ってくることを、当然のこととしている。

モノの価値は確定的であろうとつとめている。その価値は計算可能なものに設定されているのでなければならない。

贈与の原理

贈り物はモノではない。モノを媒介にして、人と人との間を人格的ななにかが移動しているようである。

相互信頼の気持ちを表現するかのようにより、お返しは適当な間隔をおいておこなわれなければならない。

モノを媒介にして、不確定で決定不能な価値が動いている。そこに交換価値の思考が入り込んでくるのを、デリケートに排除することによって、贈与ははじめて可能になる。

あたしへの贈与（今年の夏）

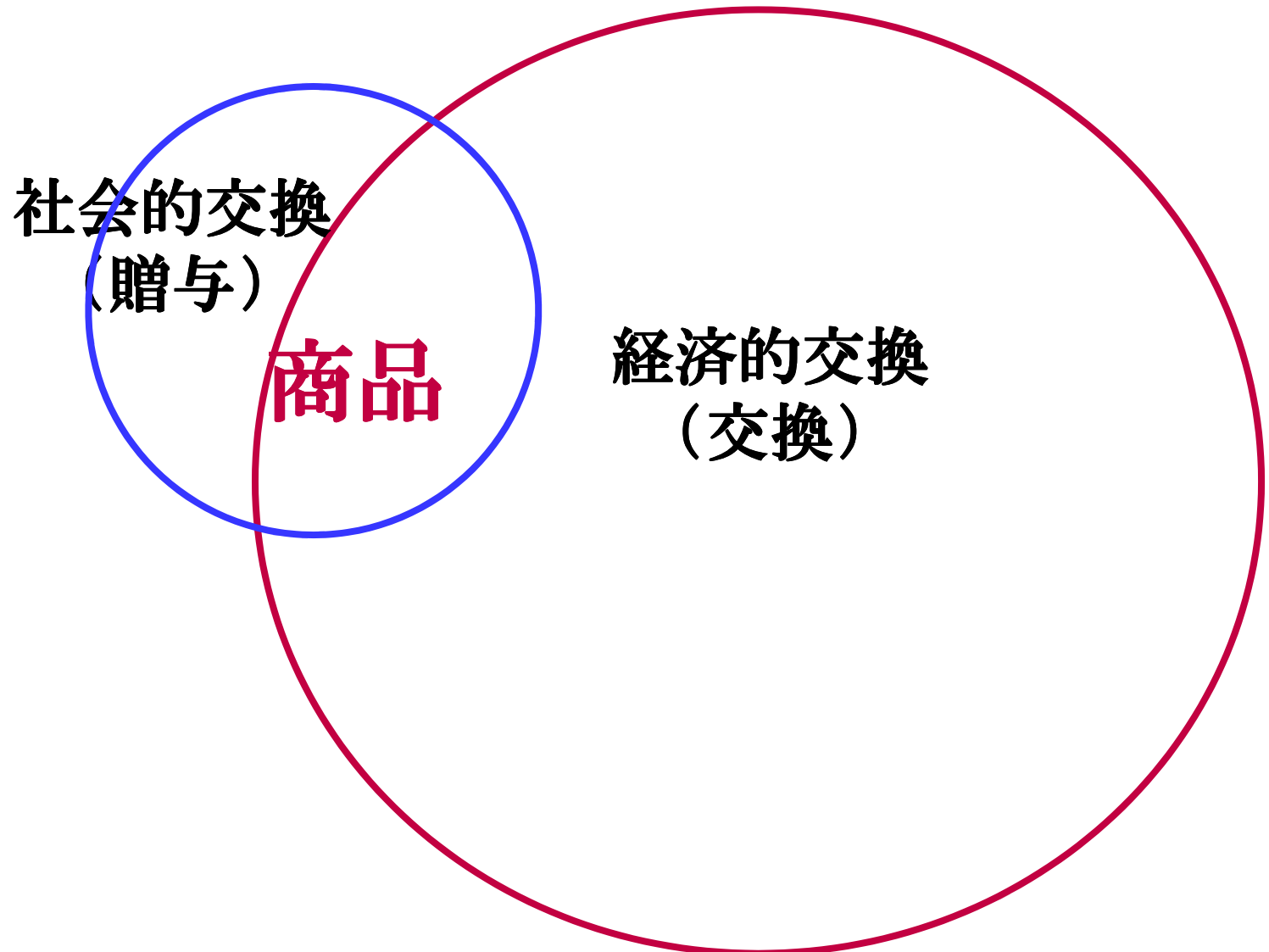
momo



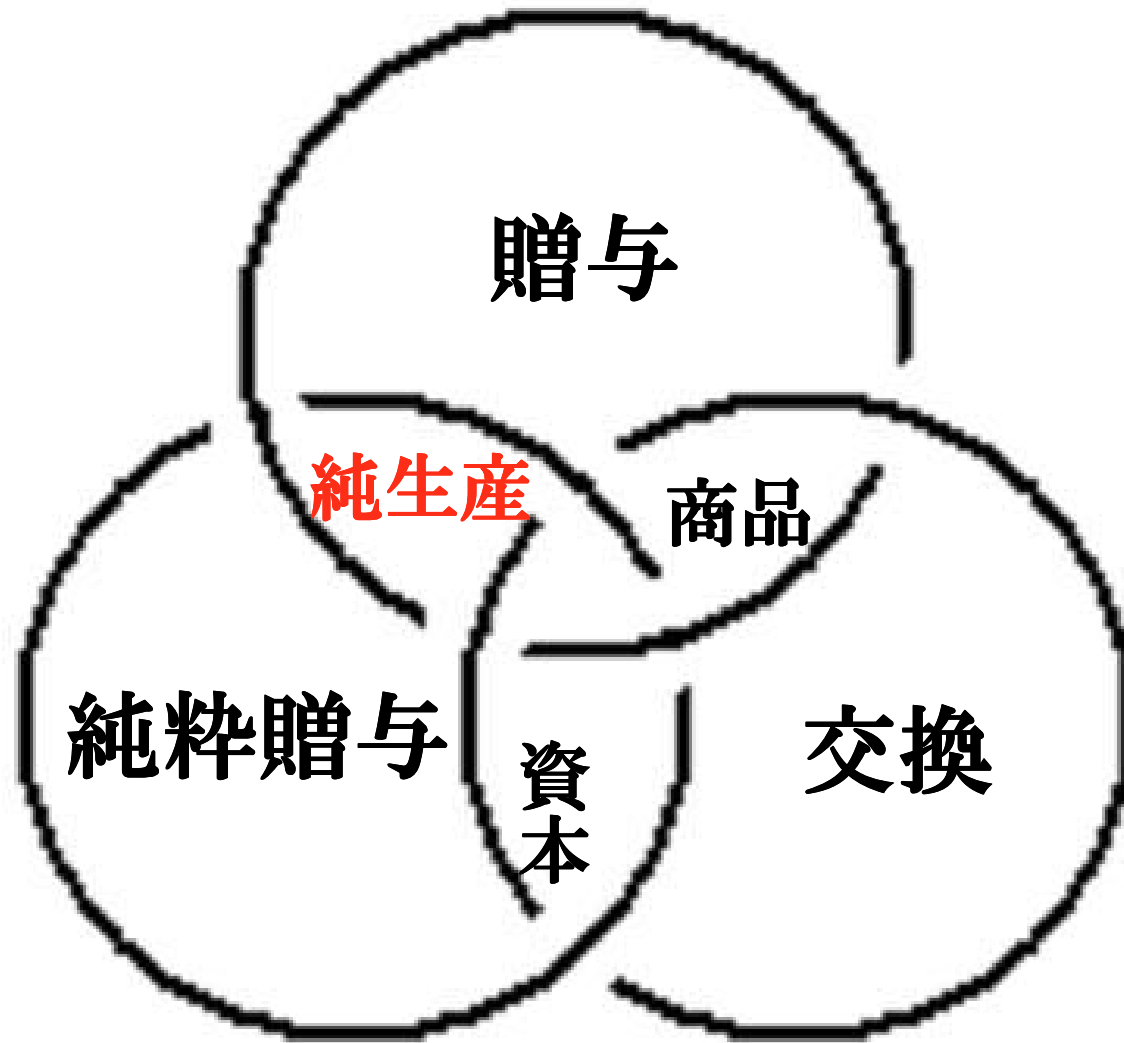
皆さん
ありがとう



しかしあたしの主食・準主食は momo
限定経済学（主流の経済学）の範囲内



普遍経済学（全体としての経済）を忘れずに行こう！



ももち どっと こむ

ご清聴ありがとうございました。

桃知 利男



E-mail pinkhip@gmail.com

URL <http://www.momoti.com/>

ご面倒でも私宛の連絡はメールでお願いいたします。